

平成30年度 訪問看護職員養成講習会開催要領

- 1 目的 訪問看護に従事しようとする、もしくは従事して間もない看護師等が訪問看護に必要な基本的知識・技術を修得することを目的とする。
- 2 主催 公益社団法人愛知県看護協会 愛知県ナースセンター（愛知県委託事業）
- 3 日時 平成30年5月30日（水）から9月20日（木）まで（32日間）
原則週2日、水・木曜日（実習時などはこの限りではない）
午前9時20分から午後4時30分まで
- 4 場所 公益社団法人愛知県看護協会 看護研修会館
名古屋市昭和区円上町26番18号
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 5 受講定員 30名
- 6 対象者 次の条件をすべて満たす方
(1) 保健師、助産師、看護師、准看護師の免許を有する者で、全日程を通して受講可能な者
(2) (1)を満たし、さらに1) 2)のいずれかに該当する者
1) これから訪問看護に従事しようとする者（看護の実務経験は問わない）、
又は訪問看護に従事して概ね3年未満の者
2) 在宅移行支援、その他在宅ケアに関わる者、もしくは関わる予定の者
※ 愛知県看護協会々員以外の方も申し込みができます。
- 7 講習科目 別紙のとおり
- 8 経費 (1) 受講料 無料
(2) 資料代（テキスト代を含む） 実費
※テキストは、訪問看護研修テキスト「ステップ1」（日本看護協会出版会発行）
を使用します。
(3) 実習に要する交通費等については自己負担
- 9 申込方法 「訪問看護職員養成講習会申込書」に必要事項を記入して下記まで申し込みをしてください。なお、様式は愛知県ナースセンターホームページ
(<http://www.aichi-nurse.com/houmon.html>) からダウンロードできます。
FAXでの申し込みも受け付けておりますが、その場合はお電話でナースセンターが申込書を受信したかどうか確認をしてください。
〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番15号
愛知県ナースセンター「訪問看護職員養成講習会」係 宛
電話 052-871-0600 FAX 052-883-3686
eメールアドレス aichi@nurse-center.net
- 10 申込期間 平成30年3月12日（月）から4月17日（火）（必着）まで
- 11 受講可否 受講決定の可否については、後日文書で通知します。（4月下旬予定）
- 12 その他 (1) 講習会受講日は、勤務先の業務との兼務はご遠慮ください。（夜勤、当直、待機等）
(2) 欠席した場合には、修了証書を授与できないことがあります。
（業務を理由とした欠席・欠課は原則として認められません。）

平成30年度 訪問看護職員養成講習会 講習科目

科目		学習内容	時間	方法	
訪問看護概論		1. 保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護の変遷 2. 訪問看護の役割・機能・特性 3. 訪問看護をめぐる諸制度 4. 訪問看護ステーションの開設・運営の基礎 5. 訪問看護の質の評価 6. 訪問看護で起こり得る倫理的課題と対応	15	講義	
在宅ケアシステム論		1. 地域包括ケアシステム 2. 関係機関・関係職種との機能及び役割と多職種連携 3. ケアマネジメント 4. 在宅移行支援	7.5	講義	
リスクマネジメント論		1. リスクマネジメント 2. 感染管理 3. 災害対応	15	講義 演習	
訪問看護対象論		1. 訪問看護の対象 2. 在宅療養者の特性 3. 在宅療養を支える家族の特性 4. 在宅療養者及び家族を取り巻く地域	7.5	講義	
訪問看護展開論		1. 訪問看護過程 2. 訪問看護の実際 3. 訪問看護の記録	15	講義 演習	
訪問看護技術論	療養生活の支援	1. 在宅療養の環境 2. 在宅療養における日常生活行動支援	15	講義 演習	
	コミュニケーション技術 (面接技術)	1. コミュニケーションの概要 2. 在宅療養における面接技術の基本 3. 面接の実際	7.5	講義 演習	
	フィジカルアセスメント	1. 問診のポイント 2. 視診・触診・打診・聴診によるアセスメント 3. バイタルサインによる病態別・病期別・年齢別アセスメント 4. 症状による呼吸・循環・神経系のアセスメント 5. バイタルサイン測定及び視診・触診・打診・聴診の技術習得	7.5	講義 演習	
	リハビリテーション看護	1. リハビリテーションの概念及び基本的アプローチ 2. リハビリテーションの実際 3. 福祉用具の活用及び住宅改修	7.5	講義 演習	
	服薬管理	1. 薬物の基本的知識 2. 在宅療養における服薬支援 3. 関係職種との連携	7.5	講義 演習	
	医療処置別の知識・	経管栄養法、中心静脈栄養法、末梢輸液管理	1. 経管栄養法 2. 中心静脈栄養法 3. 末梢輸液管理	7.5	講義 演習
		スキンケアと褥瘡ケア	1. スキンケアの基本 2. 在宅で罹りやすい皮膚疾患とケア 3. 褥瘡予防と褥瘡ケア 4. その他の創傷ケア	7.5	講義 演習
		ストーマケア	1. ストーマの定義と種類 2. ストーマケア	7.5	講義 演習

技術	間欠自己導尿、膀胱留置カテーテル、腹膜透析	<ol style="list-style-type: none"> 1. 間欠自己導尿 2. 膀胱留置カテーテル 3. 腹膜透析 4. 在宅血液透析 	7.5	講義
	呼吸管理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法を要さない呼吸管理 2. 在宅酸素療法 3. 在宅人工呼吸療法 4. 非侵襲的人工呼吸療法：NPPV 5. 侵襲的人工呼吸療法：IPPV 6. 呼吸リハビリテーション 7. 関係職種等との連携及び社会資源の活用 	7.5	講義 演習
対象別の知識・技術	急変時の看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急変時の対応体制 2. 急変の特徴と対応 	7.5	講義 演習
	がん看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. がんの理解 2. がん看護の実際 3. 家族への支援 4. がんの療養者を支援する社会資源 	7.5	講義
	認知症の人の看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の理解 2. 認知症の人への支援 3. 家族への支援 4. 社会資源の理解 	7.5	講義
	精神障がい者の看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障がい者の理解 2. 精神障がい者の看護の要点 3. 家族への支援 4. 精神障がい者の保健医療福祉に関連する諸制度と社会資源 	7.5	講義
	難病の人の看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 難病の理解 2. 難病の人の看護の実際 3. 家族への支援 4. 療養環境の整備と社会資源の活用 	7.5	講義
	疾患や障がいのある小児の看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅ケアを必要とする小児の特徴 2. 在宅ケアを必要とする小児に対する基礎的な看護 3. 家族への支援 4. 社会資源の活用およびネットワークづくり 	7.5	講義
	エンドオブライフケア	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンドオブライフケアの特徴 2. エンドオブライフケアにおける在宅療養者の支援 3. 家族への支援 4. チームアプローチ 	7.5	講義
実習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問看護の見学・実践（同行訪問）により、訪問看護の実際を知る。 2. 訪問看護以外の在宅ケアにかかわる関係機関の業務の見学により、その役割や機能を知る。 	4.5	見学 実践 記録	
その他	開講式、閉講式、オリエンテーション等	8		

計 248時間

平成30年度 訪問看護職員養成講習会申込書

申込年月日 平成30年 月 日

職種	保健師・助産師・看護師・准看護師	愛知県看護協会会員番号 No.	会員暦年数 年
ふりがな 氏名		生年月日 昭和 年 月 日生 平成 (満 歳)	男・女
勤務先 (施設名)		職位	設置 主体
勤務先 住所	〒 電話番号 () -		
自宅住所	〒 電話番号 () -		
専門 教育	最終学校名 (保・助・看・准看)		卒業年月 昭和 年 月 平成
	協会関連受講の 研修会名 記載例： 看護教員養成講習会 臨地実習指導講習会 など	年 月 日～ 年 月 日	主催
		年 月 日～ 年 月 日	主催
		年 月 日～ 年 月 日	主催
免許取得後の 実務経験年数	保健師 年 月	助産師 年 月	看護師 年 月
	准看護師 年 月	計 年 月	
介護支援専門員の資格 有 ・ 無		訪問看護経験年数 年 月	
離職期間 (現在未就業の方のみ) 年 離職年月 平成 年 月から			
研修会参加の自己の課題を記載してください。			
1.			

2.			

3.			

※平成30年4月1日現在で記入すること。